



いわきの子

岩城小学校
学校便り
第28号
R4.7.19
文責：佐藤

〈学校教育目標〉「ふるさとに誇りをもち たくましく生き抜く 子どもの育成」

自分の生活を見直します



7月7日（木）、6年生は由利本荘市の栄養士鈴木さんと保健師渡部さん、北部給食センターから栄養士の牧野先生を講師にお招きして糖分教室を行いました。普段口にする食べ物や飲み物にどれくらい砂糖が含まれているか予想したり、一日に摂取してよい砂糖の分量を教えていただいたりしながら楽しく学習することができました。事後に書いた関谷**さんの感想を紹介したいと思います。

私は、糖分教室を受けておやつを食べ過ぎに注意しようと思いました。いつも食べているおやつにはたくさんの砂糖が入っているのだと分かりました。特にコーラなどのジュースにはたくさんの砂糖が入っていて、学校の給食と同じくらいのカロリーがあるのだと分かりました。だから、飲むときは分けて飲んだりして量に気を付けたいです。また、砂糖のとりすぎは病気などの原因になるのだと分かりました。1日にとっていいおやつや飲み物の砂糖の量は50gくらいだと思っていたけれど、10gだと知って少ないなと思いました。これからは栄養表示などで砂糖の量などを確認して、とりすぎに注意して食べたいです。



7月12日（火）には、4年生が風平診療所伊藤先生をお迎えして移動保健教室を行いました。「脳は、眠っている間も仕事をし、たくさんのエネルギーを必要とする」と、脳の働きや特徴から、早寝や朝ご飯の大切さを学びました。また、「光」は、朝の目覚めには味方だが、夜寝るためには敵になると教えていただきました。渡部**さんは、「今日移動保健教室で早寝早起きの学習をしたら、夜ゲームをするのはあまりよくないことがわかりました。だから夜はあまりゲームをしないように気をつけようと思います。」と感想にまとめていました。



夏休みに入ると「これくらいはいいかな」と、どうしても気持ちが緩みがちになります。しかし、「自分の体は自分で守る」こと！学習したことを生活に生かしてほしいと思います。

3年学ぶん・プログラムツアー

3年生は7月13日（水）、「学ぶん・チャレンジプログラムツアー」に参加しました。これは由利本荘市が主催しているもので、市内の3年生が対象となっている社会科見学です。

岩城小の子どもたちは、羽後本荘駅から鳥海山ろく線に乗って、まず最初に「鳥海山 木のおもちゃ美術館」へ行き、木製の遊具にたっぷり触れることができました。次に、矢島駅の車両基地を見学。車社会の時代ですから、列車に乗ったり、のんびり車窓から景色を眺めたり、車両基地にある列車を見学したりすることが初めてという子どもは少なくなかったのではないのでしょうか。

最後は、「国指定重要無形民俗文化財 本海獅子舞番楽」をはじめ、由利本荘市の様々な民俗芸能を学習・体験できる施設「由利本荘市民俗芸能伝承館 まいーれ」に到着しました。楽しみにしていたお弁当をいただき、おいしいお弁当にみんなご機嫌だったようです。獅子舞について説明していただいた後に、実際に獅子舞を体験することもできました。学校へ戻ってから、「お獅子様にかじられた」と言っていた子どもがいましたが、きっとこれから健康でご利益があることでしょう。

3年生は社会科の学習で、自分たちの住んでいる市について学びます。今回は由利、矢島、鳥海地域を自分の目で見て、触れて、体験してきました。岩城地域との共通点や相違点などを考えながら、私たちの由利本荘市について理解を広げ、深めていってほしいものです。

